

## 情報オリンピック

(1) 対象生徒 3人 (2年生3名)

(2) 仮説

情報オリンピック(第19回情報オリンピック予選)に参加することで次の効果が期待される。

- ・情報の問題に挑戦することで、論理的な思考方法を身につけることができる。
- ・プログラミングの楽しさを実感し、情報科学への興味関心を深めることができる。

(3) 研究内容・方法・検証

日時 令和元年9月21日, 10月27日, 11月16日

会場 各自の自宅 (予選はオンラインで実施) **予選結果はまだ不明です**

予選結果

ランク	点数	人数	累計	本校人数
A				
B				
C				
	欠席者	315	4423	

(4) 事業の効果の検証、課題、来年度に向けての提言など

参加者3人は、パソコン部の部員で普段から自宅で各種コンテストサイトを利用してプログラミングの練習を行っている。情報オリンピック日本委員会が主催する地域密着型の学習支援講習会に参加し他校の生徒と交流することで刺激を受け、さらに積極的に取り組むようになった。スパコンや、パソコン甲子園など各種コンテスト等にも積極的に参加した。そういった学習活動の中で活発に質問したり、疑問を調べたりして積極的な姿勢で学習するようになった。

(5) パソコン甲子園 予選結果

参加校701校中、49位であった。本選へは7問正解した25校で、本校チームは6問解答することができていた。